

北海道各地から産出する黒曜石
その39

旭川地域～露頭写真～ (Asahikawa Area)



写真1 東鷹栖の露頭。周辺では旭川Ⅰ・Ⅱ組成グループの他、滝川組成グループに属する黒曜石を採取できる。



写真3 国道沿いの台場の露頭。高砂台礫層が堆積。この露頭から黒曜石が採取される。上部には美瑛火砕流堆積物がある。



写真5 旭川層(礫層)中。水和層により白色を呈するが、内部は黒色。東鷹栖産と同じ旭川Ⅰ組成グループである。



写真7 旭川Ⅱ組成グループの黒曜石。水和層により白色であるが、内部は灰色。黒色部も含まれることで流理構造が分かる。



写真2 旭川Ⅰ組成グループの黒曜石はK-Ar法による年代測定で3.87±0.19Maの値が示された。写真中央が黒曜石。



写真4 高砂台礫層は砂礫岩層からなる。ここでは水和層により白濁した黒曜石が礫層中から多数採取される。



写真6 旭川Ⅰ組成グループの黒曜石。触感に手にしてみると引っ掛かる感じを受ける。割れ口は貝殻状断口を呈する。



写真8 滝川組成グループの黒曜石。東鷹栖B。表面は溶けたような滑らかな触感があり光を通す。上川～北空知地方に分布。

Mukai Masayuki

(学芸員 向井 正幸)

旭川市博物館HP

地学シートHP



地学Sheets

Asahikawa City Museum

